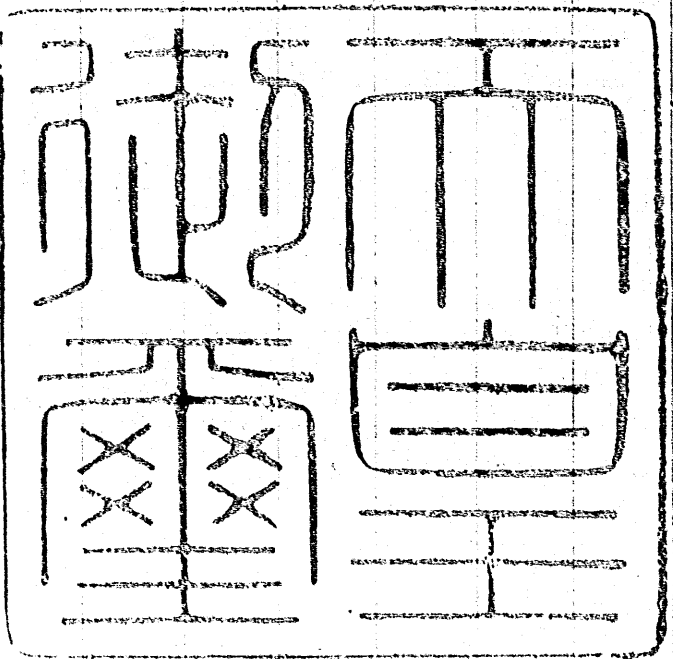


勅令第二百三十九號

朕陸軍經理學校條例改正ノ件ヲ裁可シ  
茲ニ之ヲ公布セシム

吉野加仁



大正九年八月七日

内閣總理大臣  
陸軍大臣  
田中  
一

勅令第二百三十九號

陸軍經理學校令

第一條 陸軍經理學校ハ各兵科憲兵科ヲ除キ以下同シ士官及經理部士官中ヨリ選抜セラレタル者ニ陸軍經理ニ關スル高等ノ學術ヲ修得セシメ各兵科准士官下士及經理部准士官下士中ヨリ選抜セラレタル者ニ陸軍經理部士官タルニ必要ナル教育ヲ施ス所トス

陸軍經理學校ハ前項ノ外陸軍經理ニ

開スル學術ノ調査及研究ヲ行ヒ併セ  
テ陸軍經理ニ關スル業務ニ従事スル  
者ノ教育ニ要スル圖書ノ編纂ヲ為ス  
第二條 學生ノ教育綱領ハ陸軍大臣之  
ヲ定ム

第三條 學生ノ教育ノ實施ハ教則ニ依  
ル其ノ教則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ  
陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム  
第四條 陸軍經理學校ニ左ノ職員ヲ置  
ク

校長

副官

教官

軍醫

下士判任文官

第五條 校長ハ陸軍大臣ニ隸シ校務ヲ

總理ス

第六條 副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ

掌ル

第七條 教官ハ校長ノ命ヲ承ケ各科目

ノ教授ヲ擔任シ併セテ第一條第二項ニ掲クル事項ヲ分擔ス

第八條 軍醫ハ校長ノ命ヲ承ケ衛生ニ關スル業務ヲ掌ル

第九條 下士及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ服務ス

第十條 武官タル職員ニハ便宜ノ時期ニ於テ軍隊官衙附勤務ヲ爲サシムルコトアルハシ

第十一條 陸軍經理學校ニ於テ修業ス

ル各兵科士官及經理部士官ヲ高等科學生、准士官以下ヲ普通科學生ト稱ス

第十二條 高等科學生ハ現役一二等生計中身體強健勤務精勵志操確實將來發達ノ見込アリト認ムル者ニシテ檢定試験ニ合格シタルモノ及陸軍補充令第十七條ニ規定スル經理部士官候補者ヲ以テ之ニ充ツ

普通科學生ハ陸軍補充令第十八條ニ規定スル三等生計候補者ヲ以テ之ニ

充ツ

第十三條 前條ノ檢定試験其ノ他學生ノ採用ニ關スル事項ニ付テハ陸軍大臣之ヲ定ム

第十四條 高等科學生ノ修業期間ハ二年トシ六月ヨリ翌々年五月ニ至ル  
普通科學生ノ修業期間ハ一年六月トシ十二月ヨリ翌々年五月ニ至ル  
高等科學生中陸軍大學校ヲ卒業シタル者ノ修業期間ハ陸軍大臣ノ定ムル

所ニ依リ必要ニ應シ之ヲ短縮スルコトヲ得

第十五條 學生ハ校外ニ居住セシメ其ノ修業ニ要スル兵器圖書器具及消耗品ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第十六條 學生ノ願屆其ノ他業務ニ關スル諸件ハ校長ノ管理ニ屬ス

第十七條 學生ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ス

第十八條 學生中學生タルニ適セサル者アルトキハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍大臣ニ上申シ陸軍大臣ハ之ヲ退校セシムルコトヲ得

學生中傷疾疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修業期間内ニ所定ノ學術ヲ修メ得ナル者ニシテ尚望アルモノハ校長ノ上申ニ依リ陸軍大臣之ヲ滯學セシムルコトヲ得

第十九條 學生卒業ノ期ニ至リタルト

キハ校長ハ考科列序ヲ定メ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ卒業者ニ卒業證書ヲ付與ス

第二十條 滯學ヲ命セラルタル學生及第十四條第三項ノ規定ニ依リ修業期間ヲ短縮セラレタル學生修業ヲ終リタルトキハ前條ノ規定ニ準シ之ヲ取扱フモノトス

第二十一條 高等科學生中成績優秀ノ者ハ卒業ノ際陸軍大臣ニ於テ之ヲ員

外學生ト爲シ更ニ一年間在學セシメ  
又ハ之ヲ大學令ニ依ル大學ノ學部ニ  
於テ必要ノ學術ヲ研究セシムルコト  
ヲ得

前項ノ規定ニ依リ大學ノ學部ニ於テ  
研究スル員外學生ノ修業ニ關スル事  
項ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第二十二條 卒業證書ヲ付與セラレタ  
ル者ハ校長直ニ原所管部隊ニ之ヲ歸  
還セシム但シ員外學生ト爲サレタル

者ニ付テハ其ノ修業ヲ終リタル時ト  
ス

第二十三條 高等科學生ニハ其ノ修業  
期間内適當ノ時期ニ於テ軍隊官衙附  
勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十四條 校長ハ高等科學生及員外  
學生ニ毎年普通學生ニ其ノ在校中三  
週間以内ノ休暇ヲ與フルコトヲ得

第二十五條 陸軍大臣ハ臨時ニ經理部  
上長官及士官ヲ陸軍經理學校ニ召集



之所要ノ期間之ニ必要ナル學術ヲ修  
メタルコトヲ得

附則

本令ハ大正九年八月十日ヨリ之ヲ施行  
ス

主計候補生及本令施行ノ際現ニ在學中  
ノ陸軍經理學校學生ノ教育ニ關シテ仍  
従前ノ例ニ依ル

陸軍經理學校條例中生徒隊長及生徒隊  
附中少尉ニ關スル規定ハ前項ノ主計候

補生ノ教育ニ必要ナル間仍效力ヲ有ス